

患者様へのサービス向上 & 売上・集客アップに!

専門知識不要! 誰でもできる!

専門知識が無くても姿勢計測ができるだけでなく、
ゆがみの患部をわかりやすく可視化したり、適切なストレッチをアドバイスします。

カメラの前に立つだけ! 短時間計測!

人の姿勢を自動で認識する**Kinect**をつかっているのでカメラの前に立つだけで計測準備完了。
難しい操作や、面倒な準備は要りません!

使うのは
カメラ1台と
パソコンだけ。
移動も設置も
簡単です。



姿勢のゆがみが一目でわかるレポートを出力!!

せなかの傾向

姿勢のタイプ(正常,猫背,反り腰,フラットバック)を判定。
ゆがみ・痛みを避けるための対策をアドバイスします。

反り腰タイプ

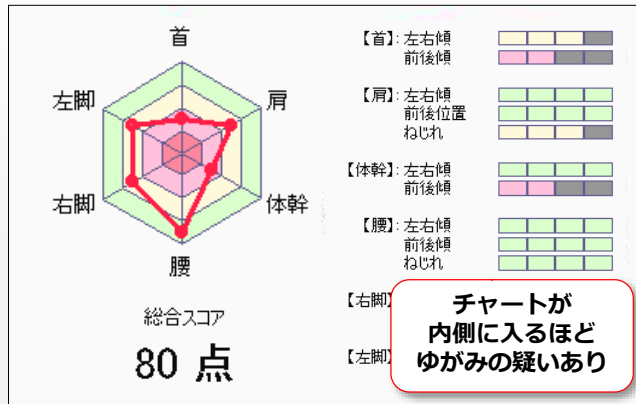
常に腰を反った姿勢で生活しているため、腰痛になりやすくなります。また、同様に股関節痛を招く原因の一つにもなります。腰を反る動作が多いスポーツをする方は注意しましょう。

対策としては脚の付け根の筋肉のストレッチと背骨のストレッチをすると負担が軽減します。

脊柱のラインも表示

姿勢チャート

14項目の指標を基に姿勢を採点。
ゆがみの傾向が一目でわかります。



筋肉の傾向

姿勢から推定される筋肉の状態を可視化。
ストレッチの必要な箇所が一目でわかります。

【正面】

【背面】

ゆがみの患部(筋肉の短縮)がゆがみの度合いに応じた色で表示されます

推奨ストレッチ

個々のゆがみに合わせたストレッチを提案。
写真付きの説明で、やり方を忘れることもありません。

■ ハムストリングス (腿の後ろ) ストレッチ

■ 計測結果
骨盤が後ろに傾いている。

■ 考えられる原因
ふとももの後ろの筋肉の緊張。

レポートを見ればすぐにやり方が分かるので、日々の継続的なストレッチが期待できます

システム構成

- システムに必要なものは「パソコン1台」と「Kinect for Windows1台（および三脚）」です。



パソコン



Kinect for Windows



撮影環境のイメージ

- 計測に使用するPCは、Kinectを動作させるための以下の要件を満たしている必要があります。

※お客様の方でPCを御用意される場合には、必ず一度弊社までご相談ください。Kinectが動作しない危険があります。

OS(※)	Windows 8 以上 64bit
CPU	Corei7 3.1GHz以上の64bitCPU
メモリ	4GB以上
USBバージョン(※)	USB3.0
USBホストコントローラー(※)	IntelまたはRenesas
グラフィック(※)	DirectX11対応グラフィックカード

※は必須事項です。

出力項目一覧

- レポートで出力できる項目は以下の通りです。

姿勢チャート	全14指標。 首の傾き（左右）、肩の傾き（左右）、骨盤の傾き（左右）、体幹の傾き（左右）、 右膝関節角（立位）、左膝関節角（立位）、右膝関節角（屈位）、左膝関節角（屈位）、 肩前後位置、首の傾き（前後）、体幹の傾き（前後）、骨盤の傾き（前後）、 肩のねじれ、骨盤のねじれ
姿勢パターン	正常、猫背、反り腰、フラットバックの4種類に分類。（脊柱ラインの表示と対策アドバイス付き）
筋肉の傾向	25箇所の筋のうち、短縮していると推定される箇所を、短縮の度合いに応じた色で示す。
推奨ストレッチ	19種類のストレッチから、個々のゆがみに最適なストレッチを提案。

※当システムは健康科学大学 臨床教授 中村崇先生との共同開発により生まれました。



株式会社ウエルアップ

〒220-0004

横浜市西区北幸 2-1-22 ナガオカビル 4F

TEL : 045-317-7908 / FAX : 045-317-7909

URL : <https://wellup.jp>